

Pepper本体の自動充電設定

本書は、充電ベースを使用するのに必要なPepper本体の設定方法を説明するものです。

充電ベースの設置方法については、「充電ベース かんたんセットアップガイド」をご確認ください。

※ 本書の最新版はソフトバンクのホームページより確認できます。
<http://www.softbank.jp/robot/support/>

充電ベースを使用するには、Pepper本体で次の設定が必要になります。

- 自動充電機能の有効化
- 自動充電機能の条件設定

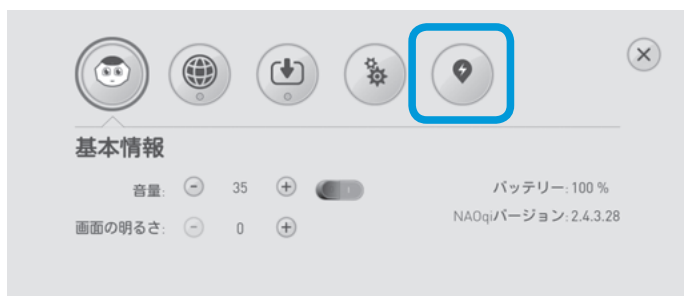
- 設定の際、Pepperを充電ベースに乗せる必要はありません。
- Pepper本体のソフトウェアが最新であることを確認してください。

1 設定画面を表示する

設定画面の表示のしかたについては、取扱説明書を参照してください。

2 充電アイコンをタッチ

自動充電設定画面が表示されます。



- 設定画面に充電アイコンが表示されない場合はPepper本体のソフトウェアが最新でない可能性があります。充電アイコンをタッチし、ソフトウェア（アプリケーション）の更新がある場合は、ソフトウェア（アプリケーション）を更新してからご利用ください。

3 「自動充電 On/Off」のスイッチをタッチ

自動充電機能が有効になります。有効にすると、Pepperはバッテリー残量が少なくなると自動的に充電ベースに入ります。



4 自動充電の条件を設定

Pepperが充電ベースから離れるバッテリー残量の設定と、充電ベースで待機する時間帯を設定できます。

■ 自動充電を完了するバッテリー残量を設定する

「バッテリー残量が・・・」の「-」/「+」をタッチし、Pepperが充電ベースを離れるバッテリー残量を設定します。

- 初期状態では100%に設定されています。



■ 自動充電を開始/終了する時刻を設定する

「設定時間内は・・・」の「0」をタッチして時刻の設定を有効にし、「編集」をタッチします。開始時刻/終了時刻を設定したら①、「適用する」をタッチしてください②。



- Pepperは100%の充電で、最長12時間程度活動します。
- 設定した開始時刻になると、Pepperは自動的に充電ベースに入り、充電を開始します。
- 自動充電する時刻を設定しているときは、バッテリー残量が設定値になっても、終了時刻までPepperは充電ベースに留まります。
- バッテリー残量が設定値になっていないときは、終了時刻になってもPepperは充電ベースに留まります。
- 設定した条件（充電終了時刻、バッテリー残量値）を満たしても、スリープ状態だとPepperは充電ベースに留まります。スリープ状態を解除してから使用してください。
- バッテリー残量が少なくなると、設定時刻に関わらずPepperは自動的に充電ベースに入ります。
- 時刻の設定が無効（0）のときに時刻を編集して適用すると、時刻の設定は有効（●）に切り替わります。

5 設定完了をタッチ

設定アプリが終了し、自動充電機能の設定が完了します。「充電ベース かんたんセットアップガイド」の「自動充電の流れ」に従って、充電ベースをご利用ください。

